

第 66 回研究大会プログラム

JAPAN SOCIETY for the STUDY of ADULT and COMMUNITY EDUCATION : the 66th Annual Conference

会 場 早稲田大学 早稲田キャンパス (新宿区西早稲田 1-6-1)

日 時 2019 年 9 月 13 日 (金) ~ 15 日 (日)

9月 13日 金				12:30~	13:00~15:30	16:00~17:30	18:00~
				受付	特別企画 「社会教育法 70 年と 社会教育研究の課題」 プロジェクト研究 「ワークライフバランス 時代における社会教育」	倫理研修会	全国理事会 若手支援企画
14日 土	9:00~	9:30~11:30	昼食	12:30~14:30	14:45~16:45	17:00~18:30	18:45~20:45
	受付	自由研究発表		自由研究発表	会場校企画 「社会教育と大学の役割」	総会	懇親会
15日 日	9:00~	9:30~12:00	昼食	13:00~16:00			
	受付	プロジェクト研究 「高齢社会と社会教育」 「『学習の自由』と社会教育」		ラウンドテーブル			

*会員の研究大会への参加は、事前申込みが必要です。3ページをご覧ください。
非会員は当日受付 一般・大学院生 2,500 円、大学生 (学生証提示) 1,000 円

【 目 次 】

◇第 66 回研究大会・ご案内	2
◇第 66 回研究大会・申込み方法	3
◇会場案内	
早稲田大学へのアクセス	4
早稲田大学建物配置図	5
会場一覧	6
14 号館案内図	7
◇第 1 日目 (9 月 13 日) プログラム	
プロジェクト研究「ワークライフバランス時代における社会教育」	9
特別企画「社会教育法 70 年と社会教育研究の課題」	9
倫理研修会 / 全国理事会 / 若手支援企画	10
◇第 2 日目 (9 月 14 日) プログラム	
自由研究発表 第 1 室 ~ 11 室	11
会場校企画「社会教育と大学の役割」 / 総会 / 懇親会	22
◇第 3 日目 (9 月 15 日) プログラム	
プロジェクト研究「高齢社会と社会教育」「『学習の自由』と社会教育」	23
ラウンドテーブル①~⑧	24

■ご案内

(1) 受付・参加者控室

①受付設置場所・時間

1日目(9/13) 12:30～ 14号館2階
2日目(9/14)、3日目(9/15) 9:00～ 14号館2階

②参加者控室

14号館3階ホワイトエ(飲食可)・5階503(飲食は不可)

※各プログラムの会場は6頁参照

(2) 参加費等

①参加費

会 員：事前申込み・事前支払 一般2,500円、大学院生1,500円

非会員：当日受付・当日支払 一般・大学院生2,500円、大学生1,000円(学生証提示)

②懇親会費(9/14)

会 員：事前申込・事前支払(※申込みは3ページ参照)

一般4,000円、大学院生2,000円

非会員：参加のみメールで事前申込・支払いは当日(※申込メールは、下記(4)の①へ)

一般4,000円、大学院生・学部生2,000円

③昼食(9/13～9/15)

構内の学食、大学周辺等飲食店は多数ありますが、土日休業のところが多いのでご注意ください。駅周辺の飲食店やコンビニをご利用ください。

会場でのお弁当販売は、9/14のみ行います(但し、事前申込・事前支払)。

(3) その他

- ・発表者は、当日配布資料がある場合、会場でのコピーは出来ませんので、事前に十分な部数(約50部)をご用意下さい。
- ・準備の都合上、事前申込後のキャンセルの場合(台風等の天災による場合も)返金には応じられませんのでご了承ください。
- ・自由研究発表をされる方は、要旨の提出をお忘れなくお願いします。

要旨提出期間：7月29日～8月10日(※切厳守)

提出先：学会HP会員サイトログイン後の<要旨投稿システム>にて提出

(4) 問い合わせ先

①大会全般、申込みなど

日本社会教育学会事務局 <http://www.jssace.jp/>

E-mail: jssace.office@gmail.com

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室気付

②会場校事務局

坂内夏子(早稲田大学)

E-mail: shakyo-taikai@list.waseda.jp(原則メールでのお問い合わせをお願いします)

電話：03-3204-8253(研究室)

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 坂内夏子研究室

■申し込み方法

会員の大会参加は、事前申込み・振込みとさせていただきます。
以下、(1)(2)の手順で申込みをお願い致します。

(1) オンライン上で参加登録手続きをする (8月1日～8月25日まで)

- ① 学会ホームページ (<http://www.jssace.jp/>) から
 - ・ 左側中央の「会員サイトログイン」から、ID とパスワードを入力してログイン
(ID とパスワードが分からない方は、「パスワード再発行」へ)
 - ・ ログインしたら「研究大会参加申込みシステム」より参加登録手続きを行う。
 - ・ 懇親会 (9/14) の参加、お弁当 (9/14 分) 希望者は一緒に申込み。
 - ・ 「手続き完了」画面で、参加費等の振込先が明示されます。
- ② ①が出来ない方は、
 - ・ メールで「大会参加申込み」というタイトルで、お名前、ご住所、所属、懇親会参加・お弁当注文の有無を記載の上、下記にご連絡ください。
 - ・ 送付先 E-mail : jssace.office@gmail.com
 - ・ 折り返しメールで振込先をお知らせします。

(2) 参加費を振込む (8月31日まで)

(1)の手続きが終了した方は、参加費 (一般 2,500 円、大学院生 1,500 円) を振込んでください。

※懇親会を申込まれた方は、懇親会費 (一般 : 4,000 円、大学院生・学生 : 2,000 円)、
また、お弁当を注文される方は 800 円 (飲物込) も振り込んでください。

※参加費の領収書が必要な方は、当日受付にてお渡しします。

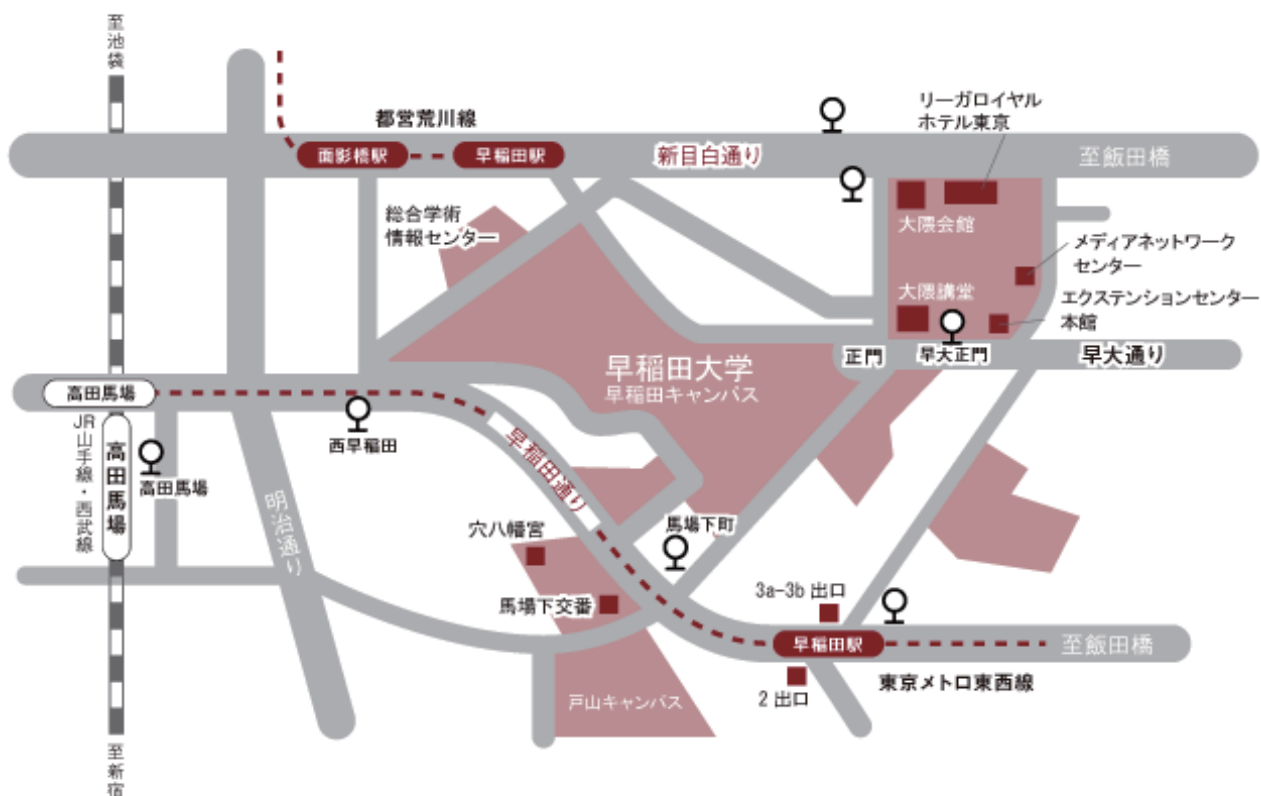
※事前申込後のキャンセルの場合 (台風等の天災による場合も) 返金には応じられませんので
ご了承ください。

【申し込み方法についての問い合わせ先】

日本社会教育学会事務局

E-mail : jssace.office@gmail.com

■早稲田大学（早稲田キャンパス）へのアクセス



●アクセス

J R 山手線 高田馬場駅から徒歩 20 分

西武鉄道 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分

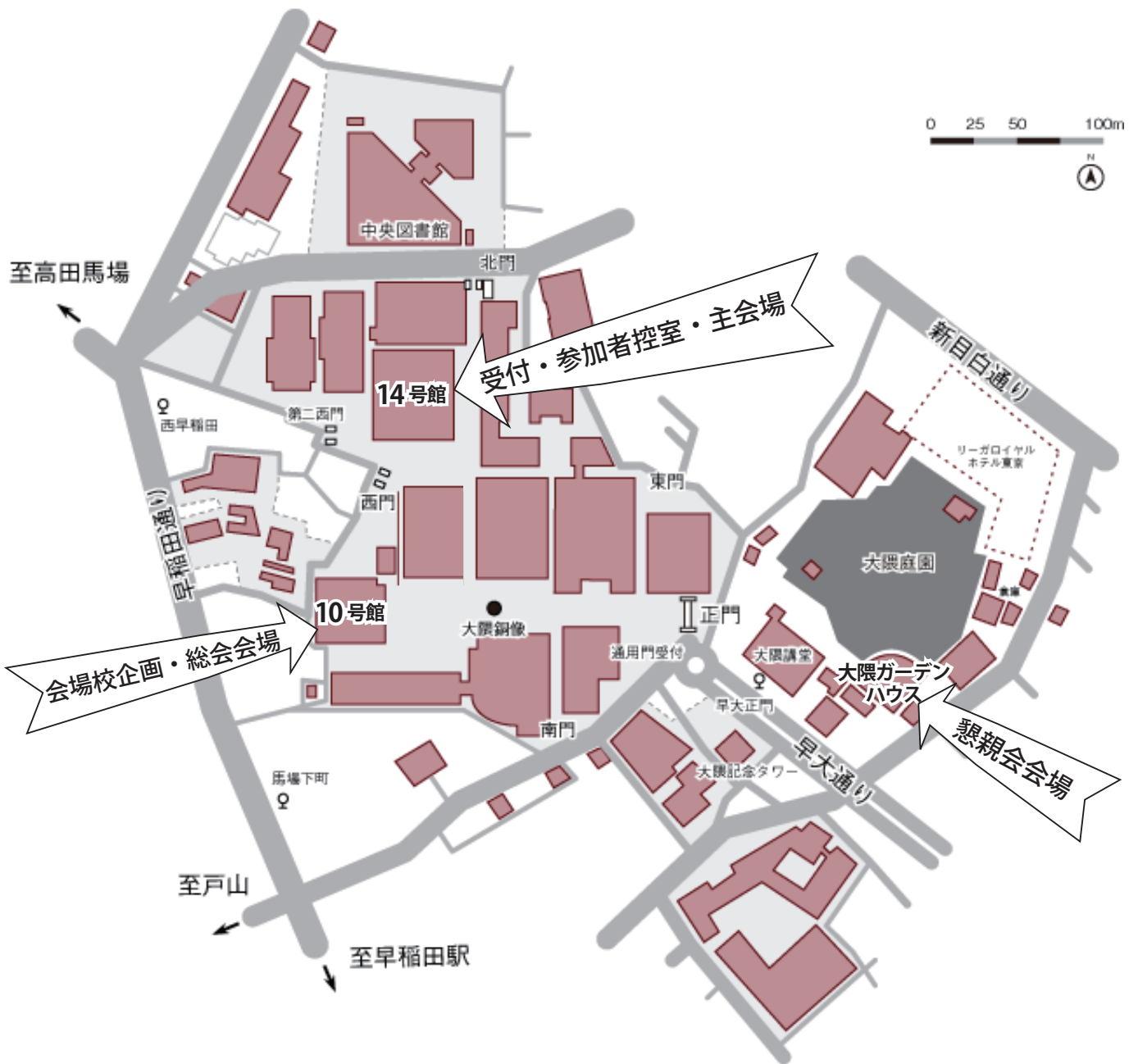
東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩 5 分

東京メトロ 副都心線 西早稲田駅から徒歩 17 分

都バス 学 02 (学バス) 高田馬場駅発「早大正門行」乗車「西早稲田」バス停から徒歩 2 分

東京さくらトラム (都電 荒川線) 早稲田駅から徒歩 5 分

■早稲田大学内建物配置図



■会場一覧

9月13日(金)

受付	14号館	2階
参加者控室	〃	3階ホワイエ・5階503
特別企画	〃	1階102
プロジェクト研究	〃	1階101
倫理研修会	〃	1階101
全国理事会	〃	6階604
若手支援企画	〃	5階514

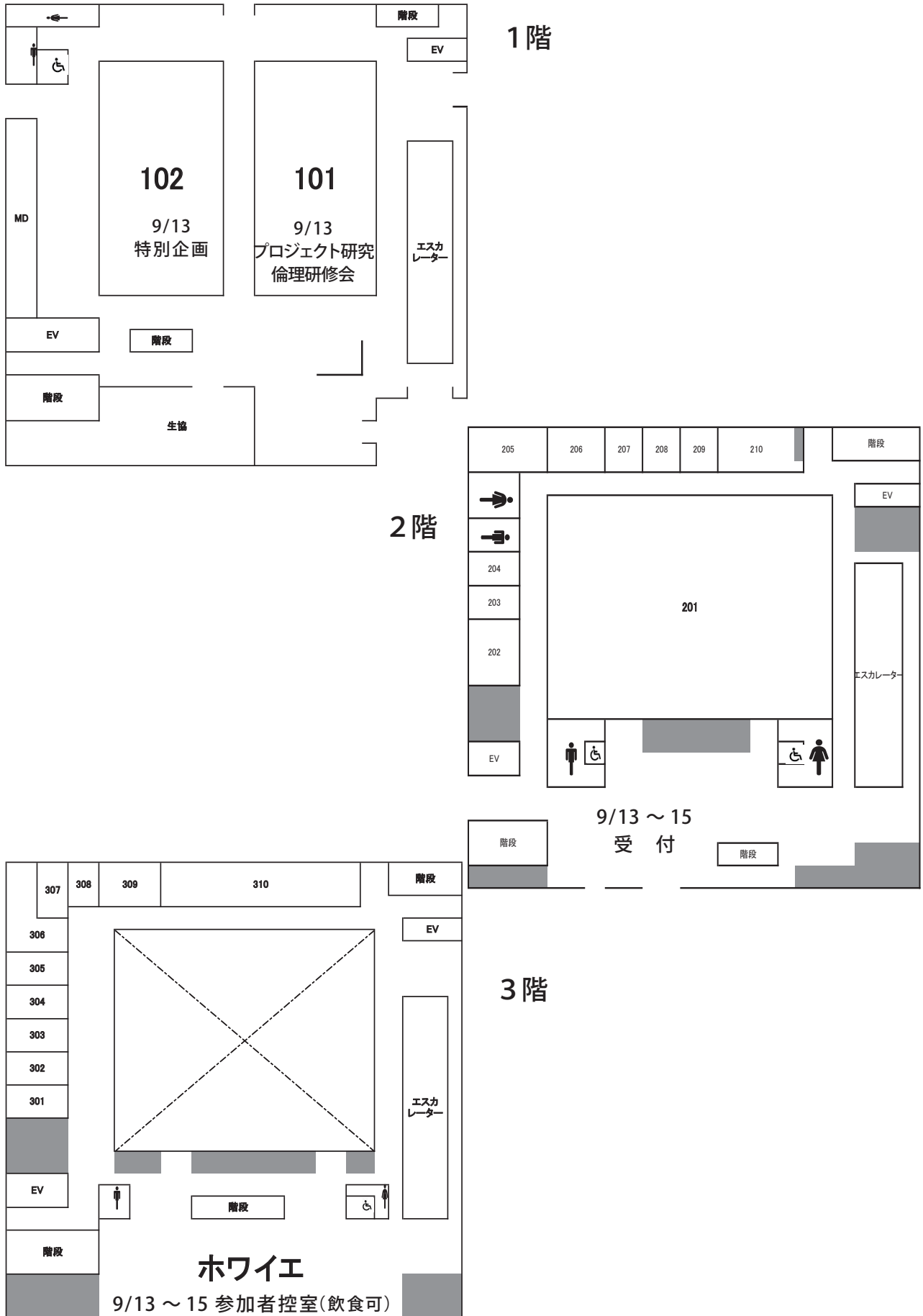
9月14日(土)

受付	14号館	2階
参加者控室	〃	3階ホワイエ・5階503
自由研究発表 第1室	〃	4階401
自由研究発表 第2室	〃	4階402
自由研究発表 第3室	〃	4階403
自由研究発表 第4室	〃	4階404
自由研究発表 第5室	〃	4階405
自由研究発表 第6室	〃	4階407
自由研究発表 第7室	〃	4階408
自由研究発表 第8室	〃	5階501
自由研究発表 第9室	〃	5階502
自由研究発表 第10室	〃	5階515
自由研究発表 第11室	〃	5階516
会場校企画	10号館	1階109
総会	10号館	1階109
懇親会	大隈ガーデンハウス	2階

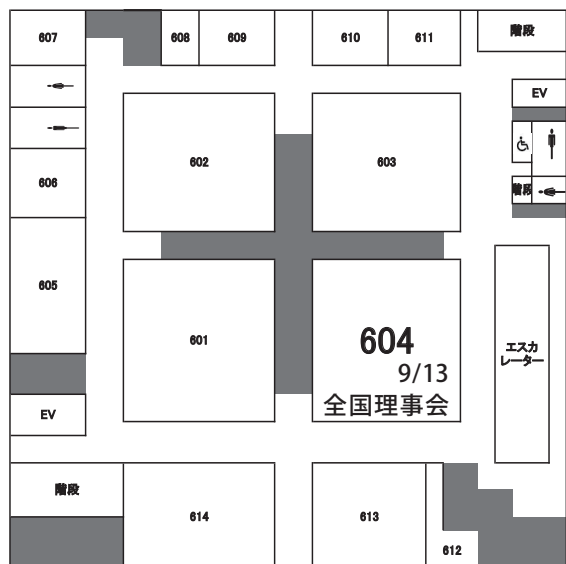
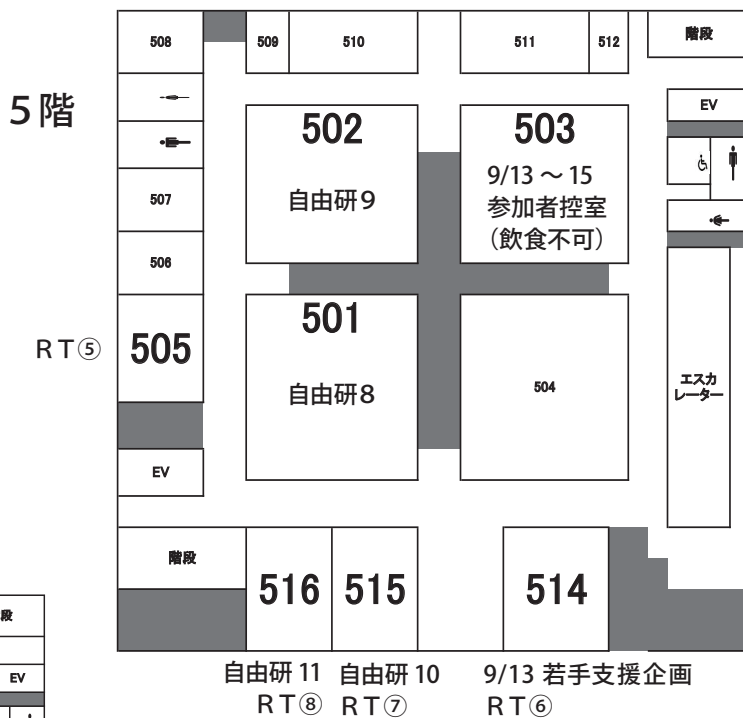
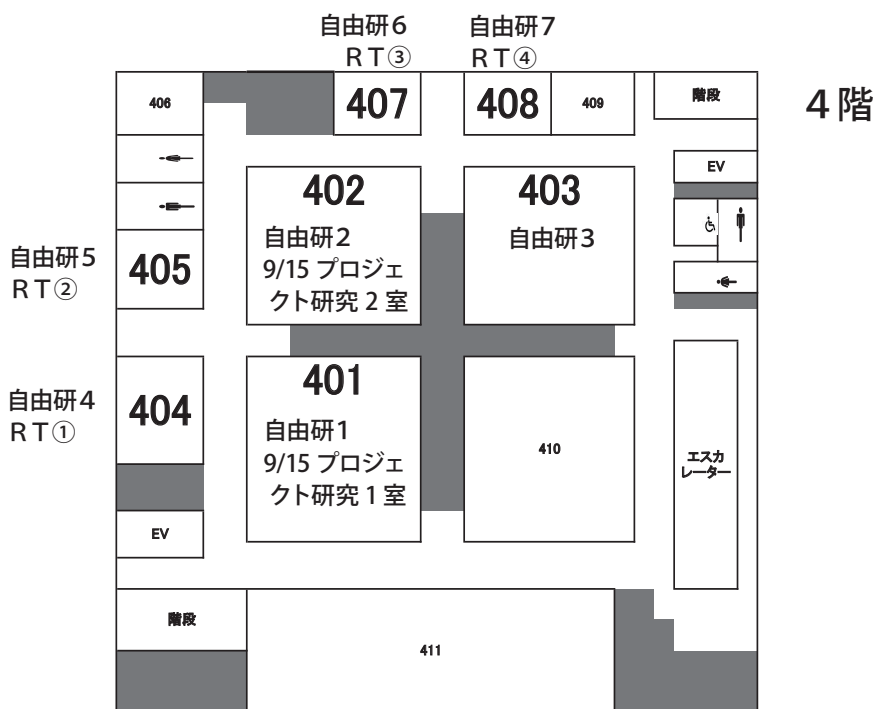
9月15日(日)

受付	14号館	2階
参加者控室	14号館	3階ホワイエ・5階503
プロジェクト研究<第1室>	〃	4階401
プロジェクト研究<第2室>	〃	4階402
ラウンドテーブル①	〃	4階404
ラウンドテーブル②	〃	4階405
ラウンドテーブル③	〃	4階407
ラウンドテーブル④	〃	4階408
ラウンドテーブル⑤	〃	5階505
ラウンドテーブル⑥	〃	5階514
ラウンドテーブル⑦	〃	5階515
ラウンドテーブル⑧	〃	5階516

■ 14 号館案内図 (1～3 階)



■ 14号館案内図 (4～6階)



自由研=自由研究発表
9/14 9:30～14:30

RT=ラウンドテーブル
9/15 13:00～16:00

第1日目 9月13日(金)

プロジェクト研究

「ワークライフバランス時代における社会教育」

13:00~15:30 14号館 1階101

テーマ 「社会教育はワークライフバランス時代にどのような意義を持ちうるか(3)

職場・企業における教育・学習をめぐる」

司会 矢口 悦子(東洋大学)、飯島 絵理(国立女性教育会館)

報告① 「社会教育研究において労働・職業が有するパースペクティブについて」

末本 誠(湊川短期大学)

報告② 「人材開発研究のフロンティア」

中原 淳(立教大学)

報告③ 「過労死と企業社会 — 『過労死を考える家族の会』の取り組みから見えるもの—」

寺西 笑子(全国過労死を考える家族の会・代表世話人)

コメンテーター 池谷 美衣子(東海大学)

特別企画

「社会教育法70年と社会教育研究の課題」

13:00~15:30 14号館 1階102

司会 田中 雅文(日本女子大学)

発題 長澤 成次(放送大学千葉学習センター)

報告① 「社会教育法70年と社会教育法制研究の課題」

石井山 竜平(東北大学)

報告② 「社会教育法70年と社会教育施設研究の課題」

上野 景三(佐賀大学)

報告③ 「社会教育法70年と社会教育職員研究の課題」

村田 和子(和歌山大学)

コメンテーター

1. 社会教育財政研究の立場から

石山 雄貴(鳥取大学)

2. 子ども・若者地域文化活動実践・研究の立場から

川野 麻衣子(NPO 法人北摂子ども文化協会)

3. 「社会教育士」と制度転換期における社会教育職員研究の使命とは

出川 真也(大正大学)

倫理研修会

16:00~17:30 14号館 1階101

テーマ 「ハラスメントをなくすための学会の役割を問う」

報告① 「倫理委員会の取組みの経過と課題」

倫理委員会委員長：村田 和子（和歌山大学）

報告② 「アカデミック・ハラスメントの現状と学際コミュニティへの期待」

御輿 久美子（NPO 法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク・
代表理事）

全国理事会

18:00~ 14号館 6階604

若手支援企画

18:00~ 14号館 5階514

第2日目 9月14日(土)

自由研究発表

午前9:30～11:30 / 午後12:30～14:30 14号館

(共同研究者は○印が登壇者)

第1室 午前 原理論・歴史

4階 401

司会 松本 大 (弘前大学)

9:30～10:20 フィールドにおける再帰的教育学の展開の研究

○前平 泰志 (畿央大学)、○生駒 佳也 (徳島県立図書館)

○猿山 隆子 (京都造形芸術大学)、○鏑 純香 (相愛大学)

10:20～10:45 日本におけるパウロ・フレイレ教育論の受容と展開

野元 弘幸 (首都大学東京)

10:45～11:10 時間生成的営為としての社会教育に関する理論的考察：身体論を手掛かりに

須藤 誠 (東京大学大学院)

(討議 11:10～11:30)

第1室 午後 原理論・歴史

4階 401

司会 松田 武雄 (中村学園大学)

12:30～13:20 民衆思想における平等概念の構造と意義

—旧・沢内村と旧・西土佐村の比較から—

○宮崎 隆志 (北海道大学)、○内田 純一 (高知大学)

○阿知良 洋平 (室蘭工業大学)

13:20～13:45 Critical Mentoring に関する考察

渡辺 かよ子 (愛知淑徳大学)

13:45～14:10 民主主義と社会教育：公民館における住民自治の構想と挫折にみる一考察

佐藤 智子 (東北大学)

(討議 14:10～14:30)

司 会 上田 幸夫 (日本体育大学)

9:30～9:55 占領期奄美・沖縄における青年団運動の実像とその意味

○山城 千秋 (熊本大学)

農中 至 (鹿児島大学)

9:55～10:20 1960年代長野県における家庭教育の模索

—雑誌『我が子の教育』を視点として—

山梨 あや (慶應義塾大学)

10:20～10:45 青年期教育とシティズンシップに関する考察

—北海道深川西高校「自由の学園」(1960年代前半)における女性たちの経験から—

辻 智子 (北海道大学)

(討議 10:45～11:05)

司 会 牧野 篤 (東京大学)

12:30～12:55 初期羽仁もと子の家族論再考

—雑誌メディアを通じた社会教育の一例として—

徐 真真 (名古屋大学大学院)

12:55～13:20 20世紀初頭ウッドブルックとバーミンガム大学の連携

—ソーシャル・ワーカーの養成を中心に—

土井 貴子 (倉敷市立短期大学)

13:20～13:45 越境する学習文化活動としての折り紙 —Origamiの誕生をめぐって—

松浦 英子 (東洋大学大学院)

13:45～14:10 産炭地社会教育の特質と「筑豊文庫」の位置

—記録文学者・上野英信の活動に着目して—

農中 至 (鹿児島大学)

(討議 14:10～14:30)

第3室 午前 原理論・歴史

4階 403

司会 久井 英輔 (広島大学)

9:30～9:55 戦前期女性たちはどのように学び働いていたのか

—女髪結から美容師への転換期を事例として—

倉田 研一 (名古屋大学大学院)

9:55～10:20 昭和初期のラジオ放送が形成した女性像

野村 和 (武蔵野短期大学)

10:20～10:45 大正期から昭和初期における政治教育実践と武藤山治

上原 直人 (名古屋工業大学)

10:45～11:10 社会事業的社会教育の実態に関する史料の分析

—「第一善隣館概要」を素材に—

大村 隆史 (香川大学)

(討議 11:10～11:30)

第3室 午後 学習文化活動

4階 403

司会 生田 周二 (奈良教育大学)

12:30～12:55 地域におけるニューカマー子女支援ネットワークの構築と高校進学保障

—「日本語を母語としない親と子どもための進路ガイダンス」の

参加構造に着目して—

相良 好美 (東京大学)

12:55～13:20 学童期以降の子どもの姿から考える地域の子どもの子育て支援実践の可能性

相戸 晴子 (宮崎国際大学)

13:20～13:45 子ども支援と社会教育 —教育福祉的視座からの考察—

井上 恵子 (白梅学園大学)

13:45～14:10 保育者は「子育て支援」に関わることにより、子ども理解をどう変容させるか

榑 ひとみ (函館短期大学)

(討議 14:10～14:30)

司 会 秦 範子（都留文科大学・非常勤）

9：30～9：55 先住民女性たちの語りの尊重 ―カナダ「失踪し殺害された先住民女性と少女たちに関する全国調査」に着目して―

矢内 琴江（福井大学）

9：55～10：20 地域ESD実践の構造的把握を巡る一考察

斉藤 雅洋（高知大学）

10：20～10：45 旧沢内村の生命尊重思想と地域養護活動

村尾 政樹（北海道大学大学院）

（討議 10：45～11：05）

司 会 荻野 亮吾（東京大学）

12：30～12：55 ニュースポーツの創造・展開と地域文化の形成

笹瀬 雅史（山形大学）

12：55～13：20 地域におけるアート活動によるネットワーキングについて

―釜ヶ崎芸術大学を事例に―

蔡 越先（北海道大学大学院）

13：20～13：45 ライフストーリーを演じ継ぐ実践に関する研究

―演者と観客の相互作用と変容をめぐって―

石野 由香里（明星大学）

13：45～14：10 合唱活動参加者のライフストーリー

―「音楽活動をすること」への意味づけはどのように変容するか―

小坂 光（広島大学大学院）

（討議 14：10～14：30）

第5室 午前 学習文化活動

4階 405

司 会 井口 啓太郎 (文部科学省)

9:30～9:55 父子家庭を支える当事者組織の学習内容と教育機能

吉岡 亜希子 (北海道文教大学)

9:55～10:20 精神障害者家族の家族会活動を通じた主体形成のあり方

—事例「家族による家族学習会」から—

末光 翔 (東京大学大学院)

10:20～10:45 父親を対象とした子育て講座の展開と課題

東 浩司 (立教大学大学院)

10:45～11:10 知的障がい者の学習権保障をめぐる争点と課題

—福祉領域の状況と理論動向を射程に入れて—

佐藤 健吾 (東洋大学大学院)

(討議 11:10～11:30)

第5室 午後 学習文化活動

4階 405

司 会 新井 浩子 (早稲田大学・非常勤)

12:30～13:10 基礎教育保障システムの構築に向けた日韓共同研究 (その2)

○添田 祥史 (福岡大学)、○長岡 智寿子 (田園調布学園大学)

上杉 孝實 (京都大学名誉教授)、金 侖貞 (首都大学東京)

新矢 麻紀子 (大阪産業大学)

棚田 洋平 (一般社団法人部落解放・人権研究所)

肥後 耕生 (豊岡短期大学)、森 実 (大阪教育大学)

13:10～13:35 韓国における地域と母親をつなげる場に関する研究

—ソウル市青少年施設隣接の母親食堂の事例—

松尾 有美 (東京大学大学院)

13:35～14:00 協働実践学習による食意識変容と食環境作りの検討

八島 絵美 (北海道大学)

(討議 14:00～14:20)

司 会 中山 弘之 (愛知教育大学)

9:30～10:20 高度経済成長期社会教育史研究(2)

—長野県旧上郷村公民館報に見る地域変貌と住民の学習—

○竹井 沙織 (名古屋大学大学院)、○張 苑菁 (名古屋大学大学院)

徐 真真 (名古屋大学大学院)、○二村 玲衣 (名古屋大学大学院)

藤田 圭亮 (名古屋大学大学院)、内藤 綾香 (名古屋大学大学院)

高 一格 (名古屋大学大学院)、大村 隆史 (香川大学)

王 倩然 (北海道大学)

10:20～10:45 高度経済成長期における若年女性の労働とキャリア形成

木田 竜太郎 (有明教育芸術短期大学)

10:45～11:10 地域づくりを支える青年期教育

木下 卓弥 (北海道大学大学院)

(討議 11:10～11:30)

司 会 岩松 真紀 (明治大学・非常勤)

12:30～12:55 高齢者の社会的活動への参加と教育支援

松本 奈々子 (東京大学大学院)

12:55～13:20 「高齢社会における『デス・エデュケーション』の可能性」から20年

飯塚 哲子 (首都大学東京)

13:20～13:45 カズオ・イングロの作品における arrested aging の問題

堀 薫夫 (大阪教育大学)

13:45～14:10 認知症に優しい村づくりにみる学習機会のあり方と潜在的役割

—カナダ・ラングリーの事例を中心に—

鈴木 尚子 (徳島大学)

(討議 14:10～14:30)

第7室 午前 学習機会**4階 408**

司 会 内田 光俊（岡山市教育委員会）

9：30～10：10 京都府公民館の歴史と現状に関する予備的考察

○田所 祐史（京都府立大学）

○杉本 智（京都社会教育研究会）

10：10～10：35 戦後開拓事業の移植民による公民館での農業改良普及事業

—パイロットファーム期の南種子町長谷地区公民館を中心として—

久保田 治助（鹿児島大学）

10：35～11：00 ホールを持つ市民館づくりと市民の活動 —川崎市の事例に着目して—

堀本 暁洋（東京大学大学院）

（討議 11：00～11：20）

第7室 午後 学習機会**4階 408**

司 会 大村 恵（愛知教育大学）

12：30～12：55 ユースワークとしてのロビーワーク

大津 恵実（北海道大学大学院）

12：55～13：20 大学におけるキャリア教育の実際

福井 庸子（大東文化大学）

13：20～13：45 大学の子育て支援 —きょう育の和センター（COC）を事例に—

森下 順子（和歌山信愛大学）

（討議 13：45～14：05）

司 会 梶野 光信 (東京都教育庁)

9:30～10:10 都市における社会教育施設の成立過程

○大山 宏 (東京大学大学院)

○佐治 真由子 (川崎市役所)

齋藤 真哉 (板橋区教育委員会)

10:10～10:35 地域課題解決型学習を支援する大学開放の可能性
—生涯学習プラットフォームの担う役割を追求する—

藤田 公仁子 (富山大学)

10:35～11:00 教育／学習の「場」の役割に関する横断的考察

奥村 旅人 (京都大学大学院)

(討議 11:00～11:20)

司 会 生島 美和 (弘前学院大学)

12:30～12:55 寄附の観点から考える博物館への市民参加

瀧端 真理子 (追手門学院大学)

12:55～13:20 多文化共生の観点から捉えた博物館の意義

山本 桃子 (早稲田大学大学院)

13:20～13:45 ハイランダー研究教育センターにおける地域リーダーの学び

藤村 好美 (東京大学・非常勤)

13:45～14:10 英国成人教育センターの現代的実践：リーズ市のSセンターを例に

武田 るい子 (清泉女学院短期大学)

(討議 14:10～14:30)

第9室 午前 学習機会**5階 502**

司会 姉崎 洋一 (札幌大学)

9:30～10:10 地域での学習の組織化に関する高等教育機関の取り組みの現状と課題

○荻野 亮吾 (東京大学)

○中川 友里絵 (東京大学大学院)

10:10～10:35 韓国における生涯教育政策と大学 ―社会人受け入れに着目して―

朴 賢淑 (岩手大学)

10:35～11:00 韓国の大学倒産時代における地域社会の崩壊と社会教育の役割

尹 敬勲 (流通経済大学)

(討議 11:00～11:20)

第9室 午後 地域・地域問題**5階 502**

司会 古里 貴士 (東海大学)

12:30～13:10 「子ども」が駆動する学校と地域の連携

―A県B市における「地域ルーム」の実践を事例として―

○大野 公寛 (東京大学大学院)

○丹田 桂太 (東京大学大学院)

13:10～13:35 東日本大震災後の地域再生とフリースクール実践の関連性についての一考察

橋本 あかね (大阪府立大学)

13:35～14:00 学校を参加の契機とした地域活動の意味

―子どもをめぐる権力関係を意識した調査分析を通して―

○辻合 悠 (神戸大学大学院)

村田 和子 (和歌山大学)

(討議 14:00～14:20)

司 会 岩槻 知也 (京都女子大学)

9:30～9:55 社会教育実践における成人の学習原理

渋江 かさね (静岡大学)

9:55～10:20 多世代にひらかれた生涯学習プログラムの構築と実装に向けた基礎研究

京極 重智 (神戸常盤大学)

10:20～10:45 「対話」の力を育む社会教育

—「非暴力コミュニケーション (NVC)」に着目して—

二ノ宮リムさち (東海大学)

10:45～11:10 学校と学習塾の関係性の特徴とその課題

鈴木 繁聡 (東京大学大学院)

(討議 11:10～11:30)

司 会 星山 幸男 (東北福祉大学)

12:30～13:10 地域農業後継者教育と社会教育の課題

—鹿児島県曾於市の事例を中心に—

○植村 秀人 (南九州大学)

○神田 嘉延 (鹿児島大学名誉教授)

13:10～13:35 地域社会像の形成につながる学習活動の可能性：災害復興の事例から

野村 一貴 (東京大学大学院)

13:35～14:00 人口減少時代における地域文化継承と青年組織の関係

—子ども・青年組織の伝統芸能継承活動に着目して—

池水 聖子 (一財・鹿児島県青年会館)

(討議 14:00～14:20)

第11室 午前 地域・地域問題**5階 516**

司会 出相 泰裕 (大阪教育大学)

9:30～9:55 地域学習による自律学習者養成：Society 5.0 へ向けて

亀井 あかね (東北工業大学)

9:55～10:20 成人教育における「質 (quality)」をめぐる国際的論点の検討

近藤 牧子 (早稲田大学・非常勤)

10:20～10:45 ユネスコ学習都市構想におけるSDGsの位置づけ

—社会的観点から—

赤尾 勝己 (関西大学)

10:45～11:10 持続可能な地域づくりの担い手育成実践研究と教育・学習・発達理論

内田 弘 (北海道大学大学院)

(討議 11:10～11:30)

第11室 午後 地域・地域問題**5階 516**

司会 石山 雄貴 (鳥取大学)

12:30～12:55 家族支援実践における教育・学習の位置づけをめぐる一考察

丸山 美貴子 (北海道大学)

12:55～13:20 外国につながる子どもたちへの教育支援について

南 紅玉 (東北大学大学院)

13:20～13:45 生活困難を抱える家庭の子供を取り巻く沖縄の地域社会の構造

—公的支援と住民自治の関係性に着目して—

入江 優子 (東京学芸大学)

13:45～14:10 子どもの居場所づくり・元気の出る調査キット作成の背景

○津田 英二 (神戸大学)

辻合 悠 (神戸大学大学院)

(討議 14:10～14:30)

会場校企画

「社会教育と大学の役割」

14:45~16:45 10号館 1階 109

司会 村田 晶子（早稲田大学）、矢口 徹也（早稲田大学）
発題 矢口 徹也（早稲田大学）
登壇 大村 恵（愛知教育大学）
岡庭 義行（帯広大谷短期大学）
沖 清豪（早稲田大学）
千葉 悦子（放送大学福島学習センター）
山本 健慈（国立大学協会）
コメンテーター 吉田 文（早稲田大学）
牧野 篤（東京大学）

総会

17:00~18:30 10号館 1階 109

懇親会

18:45~20:45 大隈ガーデンハウス 2階

第3日目 9月15日(日)

プロジェクト研究〈第1室〉

「高齢社会と社会教育」

9:30~12:00 14号館 4階 401

テーマ 「高齢社会における社会教育と社会参加」

司会 林 美輝(龍谷大学)、堀 薫夫(大阪教育大学)

報告① 「超高齢社会におけるシニアの学び」

牧野 篤(東京大学)

報告② 「高齢者の学びと地域貢献活動」

藤原 佳典(東京都健康長寿医療センター)

報告③ 「高齢者ボランティアをめぐるプロダクティブ・エイジング研究」

齊藤 ゆか(神奈川大学)

コメンテーター 高橋 満(東北大学)

プロジェクト研究〈第2室〉

「『学習の自由』と社会教育」

9:30~12:00 14号館 4階 402

テーマ 「『学習の自由』と社会教育；その総括的検討」

司会 上田 幸夫(日本体育大学)、岩松 真紀(明治大学・非常勤)

基調報告 「憲法判例としての九条俳句訴訟判決の意義」

川岸 令和(早稲田大学)

パネル討論 「社会教育における学習権と『学習の自由』研究をめぐる今後の課題」

① 「九条俳句訴訟における学習権の認定と今後の検討課題」

姉崎 洋一(札幌女子短期大学部)

② 「社会教育施設(公民館・図書館・博物館等)の運営原理と『学習の自由』」

佐藤 一子(東京大学名誉教授)

③ 「社会教育職員の規範としての『学習の自由』の保障」

田所 祐史(京都府立大学)

ラウンドテーブル

13:00~16:00 14号館

ラウンドテーブル①

4階 404

テーマ：「子ども・若者支援において「社会教育的支援」をどう位置づけるか」

コーディネーター 生田 周二（奈良教育大学）
大串 隆吉（首都大学東京（東京都立大学）客員教授）
報告 生田 周二（奈良教育大学）
帆足 哲哉（玉川大学）

ラウンドテーブル②

4階 405

テーマ：「社会教育法70年と社会教育法制をめぐる課題（その2）」

コーディネーター 長澤 成次（放送大学千葉学習センター）
姉崎 洋一（札幌大学女子短期大学部）
報告 上田 幸夫（日本体育大学）
中野 陽子（鎌倉市深沢図書館）
新藤 浩伸（東京大学）

ラウンドテーブル③

4階 407

テーマ：「青年期教育の現代的再編制に関する検討 —比較社会的・歴史的アプローチから」

コーディネーター 辻 智子（北海道大学）
報告 矢口 悦子（東洋大学）
亀口 まか（龍谷大学）

ラウンドテーブル④

4階 408

テーマ：「SDGsと社会教育（6）」

コーディネーター 近藤 牧子（早稲田大学・非常勤）
萩野 亮吾（東京大学）
報告 二宮リムさち（東海大学）
来住野 清子（昭島市教育委員会）

ラウンドテーブル⑤

5階 505

テーマ：「社会教育士養成の可能性と課題」

コーディネーター 村田 晶子（早稲田大学）

報告 大村 恵（愛知教育大学）

岡庭 義行（帯広大谷短期大学）

司会 赤尾 勝己（関西大学）

ラウンドテーブル⑥

5階 514

テーマ：「東アジア地域における家庭教育比較研究」

コーディネーター 新保 敦子（早稲田大学）

報告 林 雅音（中国文化大学客員准教授）

張 苑珍（国立中正大学）

ラウンドテーブル⑦

5階 515

テーマ：「子どもに関わる大人の学び ―親のエンパワーメントを支える関わりをさぐる」

コーディネーター 河野 和枝（さっぽろ子育てネットワーク）

大坂 祐二（名寄市立大学）

井上 大樹（札幌学院大学）

相戸 晴子（宮崎国際大学）

榊 ひとみ（函館短期大学）

報告 河野 和枝（さっぽろ子育てネットワーク）

相戸 晴子（宮崎国際大学）

ラウンドテーブル⑧

5階 516

テーマ：「『障害者と社会教育』をめぐる先行研究の検討」

コーディネーター 井口 啓太郎（文部科学省）、池田 法子（足利短期大学）

小林 洋司（日本福祉大学）、佐藤 健吾（東洋大学大学院）

島本 優子（徳島市役所）、津田 英二（神戸大学）

正木 遥香（大分大学）、松田 弥花（高知大学）

丸山 啓史（京都教育大学）、向井 健（松本大学）

報告 橋田 慈子（筑波大学大学院）

竹井 沙織（名古屋大学大学院）

コメンテーター 久保田 治助（鹿児島大学）

コミュニティ・スクール 〈増補改訂版〉

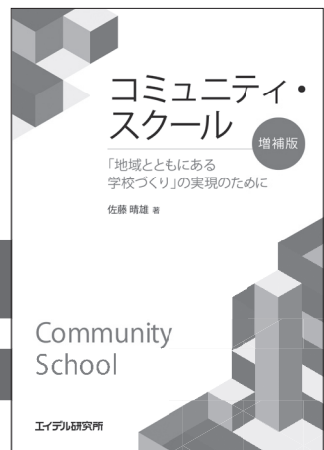
「地域とともにある学校づくり」の実現のために

佐藤 晴雄 著

2019年8月刊行

コミュニティ・スクールへの理解や学校改善に役立つ実用書。
大規模な全国調査のデータに基づき、コミュニティ・スクールの
実態や成果・課題を明らかにする。ご好評をいただいた『コミュ
ニティ・スクール』(2016年8月刊行)の増補改訂版!

- ・「第2部」に「補章」を新たに加え、法改正による学校運営協議会の在り方について詳述。
- ・内容分析の対象となる学校運営協議会設置規則数が、初版に比べて大幅に増加(157例→237例)。
- ・「第3部 コミュニティ・スクールQ&A」も、法改正を踏まえてバージョンアップ。



- A5版・並製 / 223頁
- ISBN978-4-87168-636-5 C3037
- 定価(本体1,800円+税)

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL. 03-3234-4644 FAX. 03-3234-4644 <http://www.eidell.co.jp>

文部科学省の解剖

青木栄一編著

A5・上製・二九六頁・三二〇〇円

文科省は三流官庁か? 幹部職員に対する初の意識サーベイ。官邸、他省庁、地方自治体等との関係、庁舎内の部署配置、幹部職員人事等のリアルな分析を通して、文部省/科技庁の統合後のガバナンスの行方等、俗説を排する文科省の組織構造の全貌を捉えた初の本格的実証研究。巻末に調査資料掲載。

最新刊

長期学外学修のデザインと実践

―学生をアクティブにする―

A5・上製・三三六頁・三二〇〇円

澤邊潤・木村裕斗・松井克浩編著

最新刊

ハーバード法理学アプローチ

―高校生に論争問題を教える―

A5・並製・五〇四頁・三九〇〇円

渡部竜也・溝口和宏・橋本康弘・三浦朋子・中原朋生訳

ネオリベラル期教育の思想と構造

―書き換えられた教育の原理―

A5・上製・六六四頁・六二〇〇円

福田誠治著

成人教育の社会学

―パワー・アート・ライフコース―

A5・上製・三四四頁・三二〇〇円

高橋満編著

社会を創る市民の教育

―協働によるシティズンシップ教育の実践―

A5・並製・二七二頁・二五〇〇円

大友秀明・桐谷正信編

イングランドのシティズンシップ教育政策の展開

―カリキュラム改革にみる国民意識の形成に着目して―

A5・上製・三三三頁・三二〇〇円

菊地かおり著

アセアン共同体の市民性教育

A5・上製・三五二頁・三七〇〇円

平田利文編著

社会科は「不確実性」で活性化

―未来を開くコミュニケーション型授業の提案―

A5・上製・二〇八頁・二四〇〇円

吉永潤著

社会形成力育成カリキュラムの研究

―社会科・公民科における小中高一貫の政治学習―

A5・上製・五二〇頁・六五〇〇円

西村公孝著

小林甫著 大転換期と教育社会構造(各A5・上製、続刊)

教育社会史

―日本とイタリヤと―

八二六頁・七八〇〇円

第1巻

現代的教育 I

―生活者生涯学習の地域的展開―

四六四頁・六八〇〇円

第2巻

現代的教育 II

―技術者生涯学習の生成と展望―

四八〇頁・六八〇〇円

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
<http://www.toshindo-pub.com>

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税別]

社会教育と福祉と地域づくりをつなぐ

・日本・アジア・欧米の社会教育職員と地域リーダー・
 松田 武雄 編著
 定価=本体2,500円 A5判 204頁
 [ISBN : 978-4-86692-020-7]

地域において社会教育と福祉は密接な関わりがあり、両者が融合・統合して実践が展開されることにより豊かな地域づくりが可能となる。本書は、その実践を担う社会教育関係職員と地域リーダーに視点を置き、日本をはじめ各国の諸相を描いている。



世界の生涯学習 - 現状と課題 -

新海英行・松田武雄 編著
 定価=本体2,800円 A5判 312頁
 [ISBN : 978-4-86429-403-4]

いまや生涯学習は世界的な広がりをもって各国で積極的に取り組まれている。本書では、ヨーロッパ諸国、アメリカ、アジア諸国、南米、そして日本の最新の生涯学習の現状と課題について述べており、世界の生涯学習の現在を知ることができる。



社会教育における防災教育の展開

野元 弘幸 編著
 定価=本体3,600円 A5判 256頁
 [ISBN : 978-4-86429-530-7]

東日本大震災の教訓を、今後の災害に活かすために取り組まれた研究プロジェクトの成果をまとめている。従来の研究課題の枠組みを超えて、社会教育における防災教育研究の使命と課題を追究した書である。



社会教育福祉の諸相と課題 - 欧米とアジアの比較研究 -

松田 武雄 編著
 定価=本体2,800円 A5判 294頁
 [ISBN : 978-4-86429-324-2]

本書は、今日の社会教育福祉の諸相と課題について、欧米とアジアの比較研究による考察を目的としている。ヨーロッパでは Social Pedagogy という学問領域の理論動向と事例について、またアジアでは社会教育福祉の諸相を描きつつその課題について考察する。



近代日本公民教育思想と社会教育 - 戦後公民館構想の思想構造 -

上原 直人 著
 定価=本体3,600円 A5判 416頁
 [ISBN : 978-4-86429-466-9]

本書では、近代日本における国民国家の形成と公民教育をめぐる歴史的特徴を、1920年代から戦後改革期における社会教育の形成と展開にそくして検討することを通じて、戦後改革期に社会教育の中核として提起された公民館構想の思想構造を明らかにする。



現代社会教育・生涯学習の諸相 第I～III巻

益川 浩一 著
 定価=本体1,800円 A5判 152頁
 [ISBN : 978-4-86429-319-8]

社会教育・生涯学習の諸相を、歴史・現代・実践の3つの側面から解き明かす。第I巻が歴史編、第II巻が現代編、第III巻が実践編である。



株式会社 大学教育出版

〒700-0953 岡山市南区西市 855-4
 TEL(086)244-1268(代) FAX(086)246-0294

<http://www.kyoiku.co.jp>

講座 新形態の社会教育シリーズ

I 社会教育の基礎 — 転形期の社会教育を考える

● 松岡廣路・鈴木眞理・松橋義樹 編著 本体2500円

II 社会教育の連携論 — 社会教育の固有性と連携を考える

● 鈴木眞理・伊藤真木子・本庄陽子 編著 本体2300円

III 社会教育の施設論 — 社会教育の空間的展開を考える

● 鈴木眞理・井上伸良・大木真徳 編著 本体2300円

IV 社会教育の学習論 — 社会教育がめざす人間像を考える

● 鈴木眞理・青山鉄兵・内山淳子 編著 本体2300円

V 社会教育の公共性論 — 社会教育の制度設計と評価を考える

● 鈴木眞理・稲葉隆・藤原文雄 編著 本体2300円

VI 社会教育・生涯学習研究のすすめ

— 社会教育の研究を考える

● 津田英二・久井英輔・鈴木眞理 編著 本体2500円

大学生が本気で考える子どもの放課後

弘前大学生の地域参加とプレイワーク実践

● 深作拓郎・岸本麻依 編集代表 本体1700円
 弘前大学生・教員研究会らぶちる—Love for Children 著

学校学力から生涯学力へ 変化する時代を生きる

● 前田耕司・佐藤千津編著 本体1700円

多文化・多民族共生時代の世界の生涯学習

● 岩崎正吾 編著 本体2200円

現代生涯学習と社会教育の自由

住民の学習権保障と生涯学習・社会教育法制の課題

● 長澤成次 編 本体2300円

「ESDでひらく未来」シリーズ

社会教育・生涯学習論

すべての人が「学ぶ」ために必要なこと

● 鈴木敏正・朝岡幸彦 編著 本体1900円

持続可能な未来のための教育制度論

● 小玉敏也・鈴木敏正・降旗信一 編著 本体2300円

教育の課程と方法 持続可能で包摂的な未来のために

● 鈴木敏正・降旗信一 編著 本体2300円

持続可能な地域と学校のための学習社会文化論

● 降旗信一 編著 本体1900円

SDGsと開発教育 持続可能な開発目標のための学び

● 田中治彦・三宅隆史・湯本浩之 編著 本体3000円

SDGsと環境教育 地球資源制約の視座と持続可能な開発目標のための学び

● 佐藤真久・田代直幸・蟹江憲史 編著 本体3000円

SDGsとまちづくり 持続可能な地域と学びづくり

● 田中治彦・枝廣淳子・久保田崇 編著 本体3000円

SDGs時代の教育 すべての人に質の高い学びの機会を

● 北村友人・佐藤真久・佐藤学 編著 本体3000円

テキスト生涯学習 【新訂版】学びがつむぐ新しい社会

● 田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜 著 本体1700円

教育老年学と高齢者学習

● 堀薫夫 編著 本体2800円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
 E-mail: eigyo@gakubunsha.com

日本社会教育学会 第 66 回研究大会プログラム

2019 年 8 月 1 日発行

【発行】日本社会教育学会事務局

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室気付

E-mail : jssace.office@gmail.com <http://www.jssace.jp/>

【会費等納入先】

ゆうちょ銀行 振替口座 00150-1-87773 (口座名：日本社会教育学会)

他金融機関からの振込用口座番号 〇一九 (ゼロイチキュウ) 店 (019) 当座 0087773
